

2021年度 事業所による自己評価表

児童発達支援事業所 ぽぷり和光教室

公表日: 2022年5月28日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	5		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5		1コマごとに終わるごとに、部屋、おもちゃ、共有スペースの消毒をし、部屋の換気を行っている。 お子様の特性に合わせた部屋(広さ)を使用している。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5		
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		年度末に行う保護者様向け評価表の結果により、改善点を検討し次年度の事業に活かしている。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		ホームページに公表している。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		5	今後検討していく。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		職員は毎月の社内研修を行い療育に活かしている。また学会参加などで、専門性や新しい知識を得ることに努めている。その他への研修も機会を見つけ参加したい。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5		
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5		お子様が家庭生活や社会生活で困難としていることの改善や、身に着けることでより豊かになる知識や行動の形成ができる支援が行われるよう、支援計画書を作成している。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5		
	14 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		個別療育でひとりのお子様に対し同じセラピストが担当するため仕事の分担は無いが、必要に応じて児童発達支援管理責任者やスーパーバイザーと事前打ち合わせを行い確認している。
	15 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	終了後に振り返り、気付いた点などを共有し、今後の支援に繋げていく。
	16 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		記録は必ず取り、次のプログラムに活かしている。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	17 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5		
保護者への説明責任等	18 障害児相談支援事業所のサービス 担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5		
	19 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		5	相談支援員と連携しながら、母子保健コーディネーターや子育て支援等の関係者とも積極的な繋がりを持ってご家族を支援していく。
	20 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		5	これまで園への移行支援を行う機会が無かったが、対象のお子様がいる場合には、園との情報共有と相互理解を図るよう努める。
	21 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5		
	22 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		5	
	23 （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		5	
	24 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		毎回お子様の状況を伺い、療育の最後には、その日の課題の内容結果などのフィードバックを行い、共通理解を持つよう努めている。
	25 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		5	ペアレントトレーニングも同時に目的としているため、基本的に保護者の方の同席の元で療育をしており、家庭での対応についても提案や助言を行っている。
26 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		5	利用者負担について詳しい資料がなかったため、サービス料金一覧を作成した。今後は契約時に一覧をお渡しし丁寧な説明を行っていく。	
27 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5			
28 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		日々の療育の中で、保護者様の悩みを傾聴し寄り添いながら助言を行っている。	
29 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		保護者様から相談の申入れを受けることができる旨を支援計画書へも記載し、児童発達支援管理責任者が対応できる体制を整えている。保護者様の不安を軽減し、ケアが行えるよう関係性を築いていく。	
30 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		5		
31 個人情報の取扱いに十分注意しているか	5		個人情報は鍵付きのキャビネットへ入れ、より慎重に管理する。	
32 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	33	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5	コロナ感染の予防をしながら、地域住民との関わりを持つ行事を検討する。
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5		マニュアルの策定や訓練を行っている。全ての保護者様へわかりやすい周知をしていく。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		
	36	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5		契約時にプロフィールシートへ記入していただき、口頭でも確認した上で服薬や持病の把握をしている。
	37	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5		食事の提供は無いので該当しない。
	38	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1	全ての職員に周知し共有していく。
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5		